

## レジオネラ属菌とは？ ～公衆浴場の適正な維持管理について～

### 【レジオネラ属菌について】

- 土壌や河川、湖沼など自然界に広く生息している細菌。
- 一般に 36℃前後が最も増殖に適した温度。
- 繁殖するためにアメーバなどの原生動物に寄生し、他の細菌や藻類などから必要な栄養分を吸収している。
- 空調用の冷却塔の冷却水や、循環式の浴槽など増殖しやすい環境に入り込むと急激に菌数が増えることがある。

### 【レジオネラ症とは】

- 「レジオネラ属菌」という細菌が感染することによって発生する病気で症状は2つに分けられる。

	レジオネラ肺炎	ポンティアック熱
症状	高熱、寒気、筋肉痛、吐き気、意識障害などが主な症状とする肺炎。	発熱を主症状とした非肺炎型疾患。
特徴	重症になり死に至る場合もある。 集団発生での発病率は 1～7%程度。	一般に数日で軽快する。

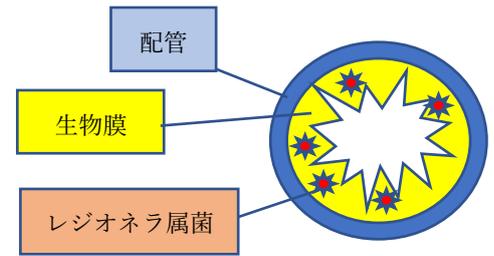
- 乳幼児や高齢者、病気にかかっている人など、抵抗力が弱い人が感染しやすい。人から人への感染はない。

### 【感染症法の届出】

レジオネラ症は、4 類感染症に定められており、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出なければなりません。

## 【循環浴槽水などがレジオネラ症の感染源となる理由】

- 1) ろ過器や配管等に生物膜が形成される。
- 2) 生物膜には、細菌やレジオネラ属菌が寄生するアメーバなどの微生物が生息する。
- 3) レジオネラ属菌がアメーバなどの中に取り込まれると容易に繁殖し浴槽水を汚染する。
- 4) レジオネラ属菌に汚染された浴槽水のエアロゾルを吸い込んだり、浴槽水が気管に入り菌が肺に達したりすると感染する恐れがある。
- 5) 肺の中のマクロファージという細胞は、アメーバと同様にレジオネラ属菌の寄生先となる。



### ○ レジオネラ集団感染事例

- 2002年7月 宮崎県内の温泉入浴施設で295人感染（疑い含む）、7人死亡
- 2014年5月 埼玉県内の温泉入浴施設で3人感染、1人死亡
- 2015年5月 岩手県内の入浴施設で13人感染、1人死亡
- 2017年3月 広島県内の温泉入浴施設で58人感染、1人死亡
- 2022年3月 兵庫県内旅館の温泉入浴施設で2人感染、1人死亡

## 【レジオネラ属菌に関する水質基準】

検査対象：浴槽水

（水道水以外の水を使用している場合は原湯、原水、上り用湯、上り用水も）

水質基準：レジオネラ属菌が検出されないこと（10cfu/100ml未満）

検査方法：ろ過濃縮法又は冷却遠心濃縮法

検査頻度：1年に1回以上（浴槽水）

根拠法令：藤沢市公衆浴場法施行細則第8条

## 【入浴者に対する注意事項】

浴槽には身体を洗ってから入ってください。

循環している浴槽水を誤飲しないよう気を付けてください。

### 【維持管理】

- 完全換水（循環水の場合は、週に1回以上の換水を行う。気泡浴や超音波及び薬湯の場合は毎日の換水が望ましい。循環式でない場合は毎日換水を行う。）
- 浴室の洗浄・消毒（ブラシでこすり洗いする等の物理的な清掃）
- ろ過器及び循環配管の逆洗浄などの方法で洗浄・消毒
- 貯湯槽の温度管理 60℃以上（最大使用時でも55℃以上）、定期的な清掃・消毒
- 集毛器の清掃・消毒（毎日）
- 浴槽水の残留塩素濃度の測定（0.4mg/ℓ以上を維持）
- 水質検査の実施
- 施設に応じた重要管理ポイントの設定
- マニュアルやチェック表の作成

### 【レジオネラ属菌が検出された時の対応】

- 1) 利用者に対する健康被害の確認
- 2) 気泡発生装置や薬湯の使用を自粛  
検出された菌量によっては入浴施設全体の営業自粛
- 3) 原因究明（保健所に連絡）
- 4) 改善作業の実施（ろ過系統など設備の清掃・消毒）
- 5) 再度の水質検査実施（検出されないことの確認）



## 【レジオネラ症患者の発生が疑われた場合の対応】

- ・ 入浴施設利用者の中からレジオネラ症患者が複数名発生した場合には、被害拡大防止のため営業の自粛が望まれる。
- ・ 保健所に指示に従い、原因究明のために施設の現場保全を行う。
- ・ 原因究明の妨げになりますので、独自の判断で消毒剤を投入したり、浴槽水を排水しないでください。
- ・ 抵抗力が低い人等では、少ない菌量（100cfu/100ml 程度）でもレジオネラ症を発症することがあります。
  - ステロイド製剤を服用し免疫力が下がっている人
  - 糖尿病などの基礎疾患がある人
  - 腎機能障害がある人
  - 浴槽水に潜った人
  - 飲酒して入浴した人

問い合わせ先  
藤沢市保健所 生活衛生課  
電話 0466-50-3594  
FAX 0466-28-2020

